

(件名) 楠隼校の共学化と自宅通学生受け入れ計画の一旦休止と議論継続

#### 【趣旨説明】

楠隼中高一貫教育校(楠隼校と記載)の共学化, 自宅通学生の受け入れにつきましては, 昨年度保護者及び在校生へのアンケートが実施され, 検討事項との連絡を受けていました。

しかし, 6月14日の県議会にて, 塩田知事より楠隼校の共学化, 及び通学生の受け入れを'26年より実施する事を決定したと, 突然表明されました。

本案件につきましては, 6月議会に於いて3名もの自民党議員から一般質問があり, 更には知事からの表明後も保護者等関係者との十分な議論が為されず, 協議内容も一般に公開されないまま作業が進められていることに対して, 保護者をはじめ, 生徒・地域住民・学校関係者は強い違和感を覚えております。

#### 【陳情事項】

1. 男女共学化の推進を一旦休止し, P T Aとの議論の継続
2. 全寮制の廃止決定を休止し, P T Aとの議論の継続

以上2点の実現に向け, 宜しくお願い致します。

#### 【内容】

保護者代表及び卒業生が6月20日県庁訪問, 塩田知事に面談したところ, 以下回答が得られました。

- ・楠隼校を, 共学化と自宅通学生の受け入れを推し進める
- ・これは, 多様性の観点から女子生徒への門戸を広げる為である

保護者としては, 楠隼校が全寮制男子校であることの意義を, 以下の通り考えております。

- ・当事者である生徒自身が, 共学校・男子校・女子高という選択肢の中から選択できる環境こそが『多様性』であり, 楠隼校の共学化はその趣旨から逸脱している
- ・全寮制は, 楠隼校の特色ある教育を継続する為にも必須である。
- ・楠隼校の共学化, 自宅通学生の受け入れは, 本校の特色・魅力を奪い, 鹿児島県の教育の画一化に繋がる, 懸念すべき事項である。

私共保護者としては,

- ①楠隼校の共学化に関しては, 議論継続中の案件と考えており, 決定通知に対して賛成できません。
- ②自宅通学生を受け入れる事は, 自宅から離れ, 全寮制で培ってきた, 全員参加の伝統を分断させるだけでなく, 保護者にとっても, 入寮数が減ることにより寮に入る各家庭が持つべき寮費等の経費負担金の増額を意味し賛成できません。

【結論】

本事項は、2015年に設立された楠隼校のコンセプトに反する事項だと考えます。

この様な重大な案件を、当事者である保護者・生徒（卒業生）の意見を軽視し、決定する事はあってはならないことであると考えます。

令和2年、及び令和4年の2度にわたり、保護者・生徒に対し、本案件に関するアンケートを実施されたに拘わらず、アンケート結果の全体の開示が為されず、共学化・通学生受け入れに賛同する意見のみを開示するといった、偏った報告が為されたのみでした。

更には、教育庁における協議内容についてはすべて非開示であり、女子学生や自宅通学生の入学希望者の有無についても一切データは示されず、根拠の薄い説明に終始しています。

また、PTAへのアナウンスについても、下記の通り一方的な通知に終始しております。

6月9日(金)ごく少数のPTA役員に内容を伏せたうえで翌週来校するよう通知

6月12日(月)急遽参加できたごく一部の役員に対し、共学化と通学生受け入れを  
決定事項として通達

6月14日(水)塩田知事より議会にて決定した旨議会表明

このおこないは、当事者を蔑ろにした手法であり、憤りを感じ得ません。

以上の理由により、①楠隼校の共学化②自宅通学生の受け入れにつきましては、PTAとしては、現在も議論をおこなっている段階であるとの認識であり、現時点での決定通知は到底受け入れることができません。

何卒ご検討いただけます様、宜しくお願い申し上げます。

以上、陳情致します。